

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2023 年 1月 15日
事業所名:	夢門塾川崎京町

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	5	4		運動の活動時には、少し狭いと感じる
	②	職員の配置は適切である	5	4		時々人数が少ないと感じることがある
	③	衛生面の管理が行き届いている	5	4		日々の消毒作業や、支援中の喚起・消毒もこまめに実施している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	5		職員ミーティングや引き継ぎノートを活用し、情報共有に努めている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	8	1		保護者様からのアンケート回答を集約し職員で共有することで今後の支援改善に努めている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	8	1		夢門塾ホームページで公表している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	8	1		夢門塾での研修に積極的に参加している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	3		相談支援事業所や保護者様からの聞き取りをもとに内容を分析し実施している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	8	1		毎月担当を決めて話し合い、決定している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	9			固定化しないように活動の内容を話し合い、工夫している。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	5	4		担当を決めて話し合い、決定している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	8	1		状況を見て、個別に分かれて活動を実施している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			朝礼にて打ち合わせ、確認等行っている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2		提供記録は必ず当日記載し、職員で共有している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5	4		半年に一度、見直しを定期的に行っている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	7	2		偏らないよう工夫し、支援を行っている。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等)の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	2		送迎時等、学校の先生方との情報共有や、保護者様からの情報共有をおこなっている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	2	7		相談支援事業所様と細やかに連携し、相互理解できるようにしている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	1	6	2	
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	4		相談支援事業所様を通して伺うことが多い。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	9			コドモンを通じてご利用中の写真3枚とメッセージを丁寧にお伝えしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	6	3		契約時に説明している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	9			送迎時や電話・メールにてその都度対応させて頂いている。また、内容を職員間で共有している。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	1	4	4	コロナ禍において実施は難しく出来ていない。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			その日のうちに連絡し、解決へと導いている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	9			月1回の夢通信・ゆめだよりの配布と細かい予定伝達はコドモンにてその都度お知らせしている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	8	1		契約時の肖像権の説明と、関係機関のみの共有について厳守している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			コドモンを通じて相談対応を常に行っている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	5	3	
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	7	2	
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	9			1年に2回行っている。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			夢門塾の事業所全体で実施されている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	6	3		
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	7	2		
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	9			職員間で共有し備えている。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<p>・アンケートの結果から、保護者様やご利用者様が活動プログラムに満足していただき、通所を楽しみにしてくださっている様子が伺えました。今後も職員で話し合い、新しいアイデアや専門職の意見を多く取り入れたプログラムを実施していきます。</p> <p>・2022年度は昨年同様コロナの影響で保護者会の開催が難しかった。今後は、感染状況を配慮しながら保護者様同士の交流を計画し、保護者会や親子イベントを実施していきます。また、地域のイベントにも積極的に参加し、地域の方々との交流も大事にしています。</p>						